



教材のねらい

この「骨ほねワークシート」は人の体のつくりについて学ぶことのできる学習シートです。骨のパーツ（分離骨格）を組み合わせることで、人の体のつくりについての興味関心を高めることをねらいとしています。

小学校学習指導要領（平成 29 年告示）との関連

小学校第 4 学年理科 B 生命・地球（1）人の体のつくりと運動

ヒトの全身骨格

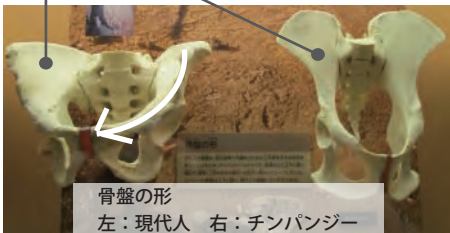
肋骨

あばら骨とも呼ばれる肋骨は、12 対 24 本あります。カゴのような形で心臓や肺を守っています。

骨盤

上半身を支える役割と、腸などの内臓を守る役割があります。チンパンジーなどの四足歩行の霊長類と比べ、全体に上下に短く、腸骨が前方に向かってカーブしています。これは内臓を下から支えるためといわれています。

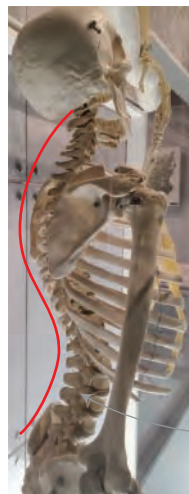
腸骨



【地球館地下 2 階 展示番号⑪】
このフロアでは人類の進化についての展示をご覧ください。発展学習におすすめです。

大腿骨

大腿骨は体の中で一番長い骨です。先端の丸い部分が骨盤のくぼみに入り股関節を構成します。



【地球館地下 2 階 展示番号⑩】

頭蓋

脳を守る部分（脳頭蓋）と、目や歯などの大切な器官を収納し、顔をつくっている部分（顔面頭蓋）からなります。複数の骨がジグソーパズルのように組み合わさり、その合わせ目は波線のように見えます。

尾骨

尾骨は尾の名残といわれている骨です。

脊柱

背骨とも呼ばれる脊柱は体を支える骨です。横から見ると S 字カーブとなっており、足から頭への衝撃を吸収し、上半身の柔軟な動きを可能にしています。

※脊柱は頸椎、胸椎、腰椎、仙骨、尾骨でできていますが、ワークシート用パーツでは、仙骨、尾骨も骨盤に含めて表現しています。